

# (事業所等記入例)

## 土地の選定理由書

転用事業者

住 所

氏 名

### 1. 当該申請事業に係る候補地エリアの選定、必要な土地の条件等

当社は、現在、〇〇番地（〇〇施設〇〇側）に本社を構えて営業しております。

この周辺では、・・・（周辺の状況）であります。

そこで、・・・（必要性）があるため、〇〇事業を計画しました。

立地の条件としては、当社から半径〇〇km以内で、土地面積約〇〇㎡で、〇〇の条件を満たす当該地区を候補地エリアとして選定しました。

### 2. 上記条件を満たす他の土地との比較

この欄には、上記1で絞った条件に合致する土地で申出地以外に最低3カ所の候補地を記載し、使えない理由を記載する。

記載例：雑種地〇〇〇番地については、地権者が〇〇として利用中。

・候補地としてあげる順番としては、「未活用の宅地や雑種地などの農地以外の土地」→「農振白地の農地」→「農用地区域内農地（除外申出地が除外後1種農地になり、かつ周囲に除外すると2種または3種農地にある筆がある場合に限る）」。

- ・自己や親族が所有する農地だけを候補地とすることは不適當。
- ・白地農地を所有している場合には、地番と使えない理由を記載する。理由は、「営農を継続するため」や「道が狭く車両の通行に支障があるため」等。

※エリアを絞ったなかでの候補地を記載して下さい。

①農地以外の土地（未活用の宅地や雑種地等）⇒②白地農地（農振農用地でない農地）⇒③青地農地（農振農用地）の順番で候補地を記載して下さい。

上記の順番で3筆記載して下さい。

①の土地が3筆以上ある場合は、①の土地を3筆全て記載して下さい。

【【記載例】】

候補地1 周辺の〇〇番地（宅地 〇〇㎡）は、農地以外の土地であるが所有者に利用計画があり、候補地から外れました。

候補地2 周辺の〇〇番地（雑種地 〇〇㎡）は、農地以外の土地であるが所有者に利用計画があり、候補地から外れました。

候補地3 周辺の〇〇番地（畑（白地農地） 〇〇㎡）は、今後、所有者に利用計画があり、候補地から外れました。

選定エリア内周辺の他の土地は、所有者に利用計画があるため、他に代替える土地はありません。

3. 当該申請土地の状況

申請地 番地（ ㎡）は青字農地であるが、隣接する土地の利用状況は〇〇のため、周辺農地への支障が無いことから候補地として選定しました。